

主催 熊本学園大学附属社会福祉研究所

2011年度 第3回定例研究会

キャンパス・ソーシャルワークとは何か？

～意義と課題～

講演

平塚 良子 氏 大分大学大学院
福祉社会科学研究科教授

日時：2011年12月17日（土）

10：00～12：00

会場：熊本学園大学 14号館2階 1421教室

参加費：無料



ポイント

今回の研究会の目的は、タイトルにあるキャンパス・ソーシャルワークとは何かを理解することにあります。以下、大分大学の『ぴあROOM』HPから、その概要をまとめました。

【先駆的取り組み】大分大学では、「平成20年度新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」（文部科学省）に採択され、「不登校傾向の学生へのアウトリーチ型支援」に取り組んでいます。

【背景】大学全入時代を迎え学生が多様化する中で、進路や人間関係での迷いが生じ学業不振となり、そこから不登校・休学・退学に結びつく学生が増えつつある状況で、大学がそうした学生に積極的に支援していこうとするものです。

【具体的な内容】学生相談の潜在的ニーズを抱えながら自ら相談室等に出向くことが難しい学生に対して、カウンセラーやソーシャルワーカーが直接出向いて相談を受けたりして、「学生への支援をより積極的に取り組むこと」すなわち「アウトリーチ型支援」を意味します。また「アウトリーチ型支援」には学生が出て行きやすくなるような環境（フリースペースなど）を提供することも含まれています。さらに学生だけでなく、保護者からの相談にも応じる家族支援も行います。

申し込み・問い合わせ先

熊本学園大学 学術文化課
〒862-8680 熊本市大江二丁目5-1

電話 096-364-8731(直通)
FAX 096-364-5201(専用)
Email: shafuku@kumagaku.ac.jp

◇当日参加も受け付けておりますが、資料準備の都合上、できるだけ事前申込をお願いします◇
(ご氏名、ご所属、連絡先をご連絡ください)